

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

能登川地区まちづくり協議会



防災懇談会

(自主防災活動リーダーフォローアップ研修)

11月6日(土)午後7時より やわらぎホール



誘拐防止紙人形劇 11月15日(月)

こばと保育園で、東近江市能登川地区少年補導員会が実施



うさぎ色紙作り

11月23日(祝)、能登川公民館で能登川地区子ども会指導者連絡協議会主催の「小学生手作り教室」が開催され、来年の干支(うさぎ)の色紙やこけし人形などを作りました。参加者約50名。



ほんまもののサンタがやってきた

12月16日(木) 能登川第二幼稚園

2010 Lighting Bell in NOTOGAWA

12月18日(土)~26日(日) 林中央公園



主催：ライティングベル実行委員会
共催：能登川地区まちづくり協議会



NO. 23

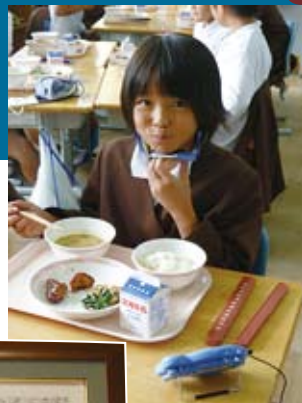
発行：能登川地区まちづくり協議会 発行日：平成23年1月20日
〒521-1292 東近江市鉢光寺町262番地 東近江市能登川支所別館内
IP電話 0505-802-2793 (平日午前中) FAX：0505-802-2793
E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp
<http://members.e-omi.ne.jp/notomatikyo/>

能登川西小学校

歯科保健優良校で「文部科学大臣賞」受賞

この度、能登川西小学校は、全日本学校歯科保健優良校表「文部科学大臣賞」を受賞されました。この賞は、歯・口の健康づくりを通して、生きる力をはぐくむ学校教育の取り組みに対して、日本学校歯科医会と都道府県教育委員会が、全国の国公私立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校から各1校を選び、表彰するという名誉ある賞です。

今回の表彰は、保護者・児童会・教職員の連携のもと、「親子歯・口の健康診断」や「キラリン歯みがき」・「夏休み家族歯みがきカレンダー」等の活動をはじめ、「毎月8日の西小歯の日」の取り組みや「かみかみセンサー」を使つての指導、「保健指導」や「食育の指導」等による学び、「はつらつマラソン」等の体力づくりなどの活動が継続的・発展的に取り組まれてきたことが高く評価された結果です。



かみかみセンサー



表彰状・記念品

小学生ゲーム大会 参加者募集



もちつき



ゲームに挑戦し、
良い汗をかいて、
プレゼントを
もらおうよ

オセロゲーム

- 日 時 平成23年 2月11日(祝・金曜日) 8:30~12:00
- 場 所 能登川公民館 1階大ホール
- 主 催 能登川地区子ども会指導者連絡協議会(地区子連)
- 内 容 当日参加してのお楽しみ
【餅つき、ピンゴゲーム、ミニ電車他】
- 対 象 能登川地区内の小学生
低学年の人には、保護者の同伴をお願い致します。
- 参 加 料 無料【未加入子ども会の方は、保険料500円を徴収】
- 持 ち 物 タオル、水筒、帽子、防寒具(手袋など)
- 申 込 2月6日(日)までに、下記連絡先までお申し込みください。
- 連 絡 先 ○地区子連窓口：能登川公民館 大壽賀
電話42-3200 IP 0505-801-3200
○地区子連事務局：櫛田宏彦 電話&FAX 42-1458



認知症と

みんなで闘おう

第9話 認知症の症状の中のいろいろな意味

いろいろな意味

私たちは、以前に記憶した事柄と現在進行形の事柄を自然に使い合わせて「物事の判断」をしています。このことは、経験や学習した古い記憶を呼び出して使っていることになりす。しかし、この記憶を呼び出す(探し出す)機能が低下すると、考えることができなくなります。

この呼び出す機能は、体調や気分によってうまく行くとときと、いかなるときがあります。そして、記憶そのものが抜け落ちます。

病状としては、①記憶できないので「知らない」「してない」と自分の行動すら否定する。②昨日できた事が今日できない・逆に昨日できなかった事が今日できる。③現在に近

い記憶から抜け落ちるため、自分の年齢や自分の子どもすらわからなくなる(残っている記憶までさかのぼる)といった症状があります。①から③へと進行してゆくと、大まかにとらえてください。

MC(軽度認知障害)は、この①までの「憶えられないことが自覚できる」時期をさしますがこの時期から認知症という病気を正しく理解し、もしかしら認知症になるかもしれないと病気に向き合う覚悟が大切です。

家族は、「しっかりサポートするよ」とメッセージを送り、病気のメカニズムや対応の仕方を共に学ぶことが大切です。

ご本人の不安は大きく家族の支えは何物にもなにもまざる良薬です。



ふるさと散歩道看板を設置

神郷自治会

平成22年11月、神郷自治会にふるさと散歩道看板を設置しました。

能登川地区まちづくり協議会ふるさと散歩道事業部は、各自治会の「まちづくり委員」に呼びかけ、「自分たちの自治会の見どころを案内する看板を、自分たちの手で建てる」活動を進めておりますが、今回の看板は、その第1号です。

看板材料は、能登川まち協から提供を受けました。看板を立てる用地の地権者の了解を得ること、および看板の設計・製造・工事は神郷自治会のまちづくり委員中心に行いました。

これに続き、他の自治会でも看板が建てられることを期待しています。

看板は2ヶ所建てました。写真は、乎加神社の南約100mの交差点に建てられた看板です。もう1ヶ所は、消防学校西の交差点です。



避難訓練を実施

ドリームハイツ自治会

ドリームハイツは過去に2回、床上浸水の災害にあいました。このため、能登川地区まちづくり協議会のサポートを受けながら、自治会内の自主防災組織の整備に取り組んでいます。

この一環として、平成22年11月7日(日)、避難訓練を行いました。9時30分、サイレンの合図で開始。自治会の班単位に点検をして、集会所公園に集合。各班長から参加者数の報告をした後(総数は156名)、消防署の協力で「簡易タンカの組み立て、搬送の仕方」、「骨折時の応急処置の仕方」、「風呂敷による三角巾の作り方」などを勉強しました。また、豚肉炊き込みご飯を作って参加者に支給し、バケツリレーゲーム(水の代わりにドッチボールを使用)もしました。



歴史点描 ④

市史編纂室だより

幕末余話

彦根藩のお取り上げ

江戸時代、能登川地区の多くの村は彦根藩領でした。しかし1862年に、井伊直弼のかつての失政をとがめられ、領地お取り上げにあい、一部を除くほとんどの村が幕府領となります。

村びとにとってみれば、二百年以上の間、同じ殿様のもとで助け合い、婚姻関係を結んできた兄弟のような関係です。それが、こちらの村は幕府領、あちらの村は彦根藩領と別々の支配になってしま

ったのです。そこで旧彦根藩の村々は、1864年大坂滞在中の幕府高官をたずね、彦根藩に戻してくれるよう頼みます。訴えは二度三度に及びましたが、決定はくつがえりませんでした。

領民の行動は、二百年來の藩主井伊家への親しみが深いこと、変化への頑なな拒否をあらわすものとして興味深いです。この一連の村びとの行動が新宮町の庄屋筋の文書に残っています。

さて、お待たせしました『東近江市史 能登川の歴史』第1巻「原始・古代編」を平成23年4月に刊行します！

■『明治の古地図』(2,000円)は、埋蔵文化財センターにて好評発売中！



防災懇談会

〔自主防災活動リーダーフォローアップ研修〕

平成22年11月6日(土)午後7時より、やわらぎホールで、能登川地区まちづくり協議会、のとがわ福祉の会、東近江市社会福祉協議会の3者共催による「防災懇談会」が開催されました。

自治会長・自治会役員、民生委員児童委員、能登川福祉の会評議員、まちづくり委員等総勢82名が、瀧本浩一氏（山口大学大学院准教授）より「自主防災活動のヒントと課題」の説明を受けた後、同教授の指導のもとで、地域防災の進め方、考え方などについて、7～8名のグループに分かれて熱心な討議が行われました。

午後9時過ぎ「この研修で得たことを自治会等地域でぜひ活かして下さい。」の言葉に送られて閉会しました。



私のまちの
防災計画を考えよう



ハザードマップを活用しましょう

福祉のまちづくり講演会

■テーマ 認知症の基礎知識

～早期発見・早期対応をするために～

■日時 平成23年 2月5日(土) 13:30～16:00

■場所 やわらぎホール

■講師 滋賀県立成人病センター
医師 長濱 康弘氏

■主催 のとがわ福祉の会

■共催 能登川地区まちづくり協議会



ご案内

2011年 元気のつどい

■テーマ

気づいていますか？ からだの  シグナル

■日時 平成23年 3月5日(土) 10:00～15:00

■場所 やわらぎホール (受付 9:45～)

講演

11:15～12:15

禁煙のすすめ

東近江市あいとう診療所
院長 横田 哲朗氏

「禁煙をしようと思っておられる方」・「以前に禁煙を断念したが、再チャレンジしようと思っておられる方」へ…。今こそ『禁煙の誓い』を。禁煙をサポートします。

■主 催 元気のつどい実行委員会

■共 催 能登川地区まちづくり協議会

■問合わせ 元気のつどい事務局

Tel42-8702 IP 0505-801-8702

詳しくは、自治会回覧をご覧ください。



一緒にまちづくりをしませんか

新年あけましておめでとうございます。

みなさまにとりまして素晴らしい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

まちづくり協議会も5年目を迎え、遅々とした歩みですが、様々な取り組みを行ってまいりました。一歩一歩、着実な歩みを心がけておりますが、まちづくりの素人集団のかなしさ、試行錯誤の連続であり、迷いの連続でもあります。

世界が、社会がダイナミックに変化しております昨今、すこしでも安心して、住みよい町、住み続けたい町を目指して活動を続けております。多くの団体が、まちづくりに福祉活動に活動され功績を積み重ねてお

られます。それらの諸団体の皆様とも協力・協働してまちづくりに取り組み子どもたちには夢のあるまちを、大人には安心して住み、活動できるまちを、お年寄りには住んでいて良かったと思えるまちをみんなでつくるのが願いです。

じぶんの住む地域、能登川、大きくは東近江で何か役立つことをしてみようと思われる方、いちど能登川地区まちづくり協議会にお声がけをしてみてください。みなさまと一緒に活動するサークルがまちづくり協議会です。

能登川地区まちづくり協議会
会長 藤居 正博

